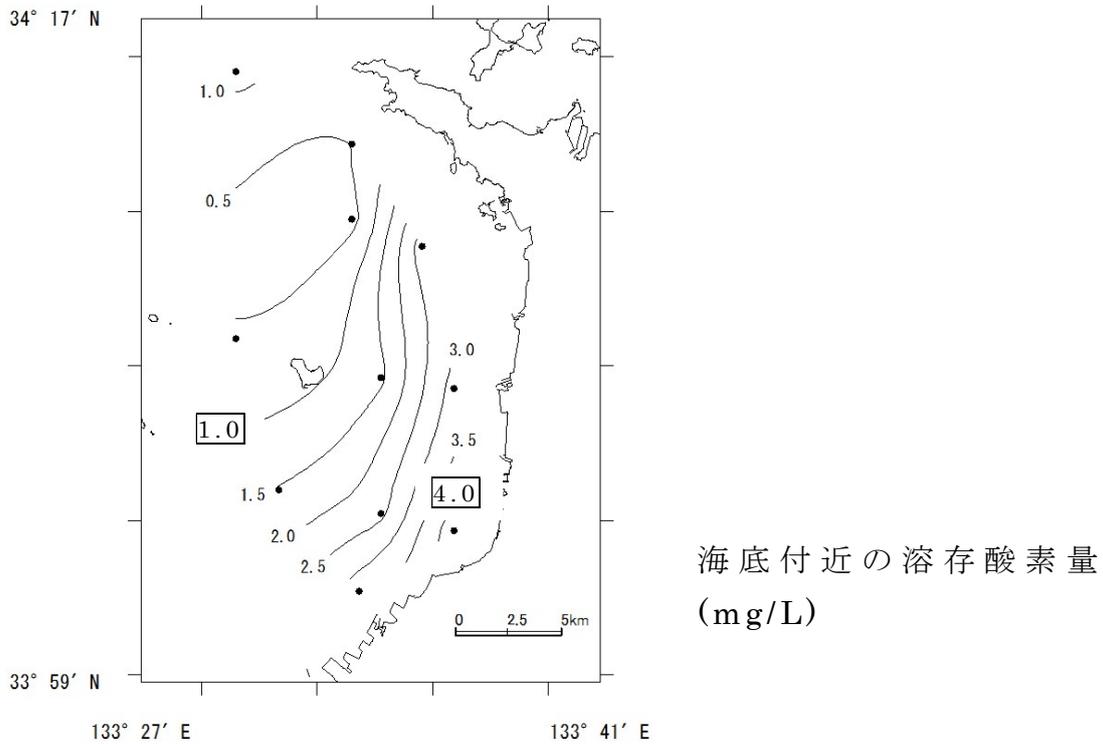


燧灘貧酸素情報（第 1 号）

香川県水産試験場

8月21日観測結果

8月21日現在，燧灘底層の溶存酸素量が大きく減少しています。燧灘では8月1日頃から鞭毛藻赤潮による活発な光合成により、中層では例年以上に酸素濃度が高い状態でしたが、赤潮の終息により急激に酸素量が低下しているとみられます。表層と底層の温度差が大きい状態が続いており，浅い層から酸素が供給されないことから，貧酸素状態の解消には時間がかかるものとみられます（次回調査は9月上旬の予定）。



溶存酸素量（DO）の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。